

報 道 資 料

令和6年4月12日

奈良県県土マネジメント部道路マネジメント課

担当：植谷

TEL (0742)27-7499(直通)

(内線 4150)

国道425号下北山村大瀬地内の崩土による通行止について（第2報）

国道425号（下北山村大瀬地内）において、4月11日に発生した崩土について、別紙のとおり、道路防災ドクター（近畿地方整備局）により現地調査を実施していただきましたので、診断内容を公表します。

診断内容を踏まえ、早急に調査、対策を進めてまいります。

国道425号 下北山村大瀬崩土 道路防災ドクター
現地調査・診断内容

【所 感】

- ・潜在的な高角度で、道路側に向かって流れ盤の割れ目が多数存在する。
- ・植物の根の伸長等による割れ目の拡大により、岩盤が崩落したものと推察される。
- ・落ち残りが明確であるため、作業中も落ち残りに注意する必要がある。
- ・周辺には同じように岩盤に割れ目が生じている箇所があり、いつ落ちるかわからない状況のため、ただちに落石防止網工を外すのは危険である。
- ・まずは、岩盤の割れ目の頻度、方向性、状態等を調査し、道路法面の危険箇所マッピングを行う必要がある。
- ・危険箇所マッピングには、節理の入り方、風化の程度、割れ目の開口幅、湧水・表面水の有無、植生等に着目し、実施すること。
- ・路線全体的に節理の発達し、割れ目が見られるので、区間を定めて調査・対策を行って、周囲に水平展開していければよいのではないか。

【今後の対策について】

- ・危険箇所マッピングの結果により対策工の検討を行う。
- ・安全確保のため、簡易な吹き付け等を実施しつつ、不安定岩塊を落としていく。
- ・その後、斜面の状態を確認し、改めて対策工を検討する。

なお、今回の診断結果については、本日の現地調査で得られた情報に基づくものであり、今後の調査等の新たな情報等により、診断結果が変更になる可能性があります。

※道路防災ドクターとは

災害等により損傷した施設等の調査・復旧方法や道路施設の機能保全に必要な対策及び管理計画等に関する指導や助言を頂く高度な技術や専門的知識を有する学識経験者

現地調査の状況

